

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公表番号】特表2009-526908(P2009-526908A)

【公表日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2008-554586(P2008-554586)

【国際特許分類】

C 22 C 38/00 (2006.01)

C 22 C 38/54 (2006.01)

H 01 M 8/02 (2006.01)

H 01 M 8/12 (2006.01)

【F I】

C 22 C 38/00 302Z

C 22 C 38/54

H 01 M 8/02 B

H 01 M 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月27日(2009.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

【図1】図1は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなる合金11上の酸化物層13を示す。

【図2】図2は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなり、チタンを添加した合金21上の酸化物層13を示す。

【図3】図3は、鉄、クロム、マンガン及びランタンからなり、置換を添加しつケイ素で置換した合金31上の酸化物層13を示す。

【図4】図4は、鉄、クロム、マンガン、ランタン、ニオブ及びタンゲステンからなる合金41上の酸化物層13を示し、酸化物層13と合金層41の間に配置されたニオブ富化酸化物層47を有する。

【図5】図5は、鉄、クロム、マンガン、ランタン、ニオブ及びタンゲステンからなり、ケイ素置換した合金51上の酸化物層13を示す。

【図6】図6は、合金粒界の所のFe₂(M, Si)のタイプの析出物(56)並びに合金粒中のFe₂(M, Si)のタイプの析出物(55)の走査電子顕微鏡写真を示す。